



ひとつの根っこにむすばれた
いのちたちよ

大地とつながり
この美しさの中をあゆもう
自分の真実を生きよう

世界はあなたから生まれている
いま ここから

photo by kazufoto

Yuka Hoshino

星野ゆかライブ2017@カフェスロー「いのちのものがたり」

1/28 (土)

18:00 開場 18:30 開演

★出演:

星野 ゆか(うた・ピアノ)

下館 直樹(ギター)

スティング宮本(ベース)

花岡 英一(ドラム&パーカッション)

★会場:

カフェスロー@東京 国分寺

TEL : 042-401-8505 <http://www.cafeslow.com/>

★入場料:

予約 3,000円

当日 3,500円

中学生 1,000円 小学生・未就学児 無料
(静かな時空間にご協力ください)

★お申込み:

カフェスロー TEL : 042-401-8505(月曜定休)

net : <http://yukahoshino.net/170128.html>

★お問合せ:

詳細: <http://yukahoshino.net/>
info@yukahoshino.net

※本ライブの収益の一部を熊本地震復興支援に寄付します。

星野ゆかライブ2017@国分寺 カフェスロー☆「いのちのものがたり」



熊本での地震から8ヶ月が経ちました。

その後も続く、水害、台風、猛暑、噴火という自然の姿に私たちの暮らしも心も大きく揺さぶられました。

被災地では、まだまだ復興はこれからという状態ですがこの間、たくさんの方が様々な形でご支援くださいました。

誰かが思いを寄せてくれることが

こんなにも力になるのだということを

身を以て知りました。本当にありがとうございます。

いま、大きな変化の時代を生きている地球。

いつどこで異変が起きてもおかしくありません。

いのちの声は私たちに何を語りかけているのでしょうか。

「自然は、祖先から譲り受けたものではなく

子孫から借りているものだ」

と、北米先住民族は語り伝えてきました。

ひとりひとりの「わたし」という自然を心から抱きしめ

生きとし生けるものとともに

いのちの平和を生きたとき

2017年という新たな年の始まりに、

わたしを開け放ち

歌とともにみなさんと出会えることを願っています。

Love∞Thanks yuka

会場:

カフェスロー

〒185-0022

東京都国分寺市東元町2-20-10

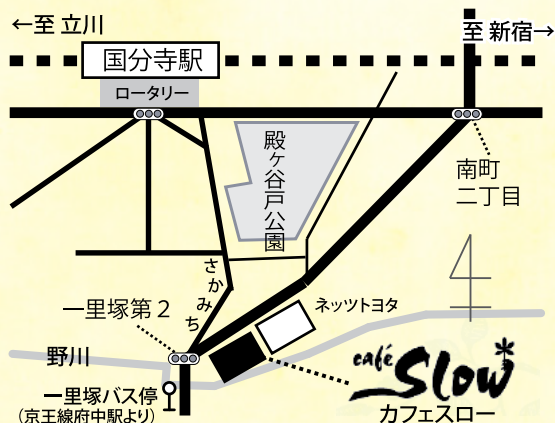
TEL : 042-401-8505

E-mail : cafeslow@h4.dion.ne.jp

<http://www.cafeslow.com/map/access.html>

カフェスローへのアクセス

JR中央線国分寺駅南口より徒歩5分



ライブのご感想より

宝物みたいな時間でした。星野さんがうたうと、私の目の前も、海が、月が、太陽が、つくがみえました。波の音が、うぐいすの鳴き声が、風の音がきこえてきました。

1つ1つの曲が、本当に彩りゆたかで、まさに祈りのように大地や空や地球がよろこんでいるようでした。

☆

涙があふれてきました。それはなぜだろうと思っていたら、私という、地球の自然のほんの一部であるこの身体にいのちを吹きこまれ、愛を注いでくれたからでした。

☆

草原の草のにおい、雨のしずくが肌に当たる感触、お月様の優しい光 お日様のあたたかさ、自然の地球の宇宙の大きな大きな愛に私たちは生かされているんだなあーと歌を聴いていると、そのうれしきで心がいっぱいになりました。

☆

世界観を感じながら、言の葉ひとつひとつ、声、音、リズムを細胞に響かせて聴かせていただきました。

☆

前向きで本気な表情と素敵な歌が、僕を癒してくれました。

☆

歌うことってすごいな、素晴らしいな、ということを改めて教えてくれる歌声。ほんとに、歌は魔法だと思いました。

☆

歌の中で、人は笑い、泣き、旅をして、自然と一つになって、何度も生まれ変わることができる。どんなこともできる。

それを歌の中でリアルに体験し、まざまざとイメージすることで現実を変えてしまうことができるのだと、ゆかちゃんの歌に教えてもらいました。

地球とともに生きていく。

愛を繋いで、優しさを繋いで生きていく。そんな旅をした夜でした♪



・星野 ゆか (ほしの ゆか) (うた) <http://yukahoshino.net/>

4歳よりピアノをはじめ。桐朋学園演劇科、円演劇研究所を経て劇団民藝へ。俳優の活動と並行して「人と人、人と地球の持続可能な共生=LiveTogether」をテーマにうたと朗読のLiveを各地で開催。やわらかく魂にひびくうたに深い共感が広がる。同時にアースデイTokyo、WORLD PEACE NOW、Be-in、愛・地球博などNGO活動のMC、渋谷FMの番組「4GLOBAL PE@CE」のパーソナリティをつとめる。合同出版社刊「全国お郷ことば・憲法九条」朗読CD制作参加。2011年12月、CD「on this planet」をリリース。2012年、白鳥哲監督映画「祈り〜サムシンググレートとの対話」のエンディングロールにて「あざみちのうた」、2015年、同監督映画「蘇生」エンディングロールを歌う。2015年初夏、ニューアルバム「いのちのものがたり」完成。



・下館 直樹 (しもだて なおき) (ギタリスト・作曲家) <http://naoki.tk>

米国ボストンバークリー音楽院留学。スペインコルドバギターフェスティバル参加。モーリス・フィンガーピッキング・ギターコンテスト3年連続ベスト20にノミネート。ギブソンジャズギターコンテスト2005年「山野楽器特別賞」受賞(審査員コメントより)「ギターの持っている可能性を100%発揮していた」杉本喜代志氏「ソロに説得力があった。リヴァーヴの出し方、ハーモニクスも綺麗」渡辺香津美氏「美しい音色と多彩な奏法」布川俊樹氏。作編曲のほか、作曲・ジャズギター・フレンチギター・の講座講師などもつとめる。



・花岡 英一 (はなおか えいいち) (ドラム&パーカッション奏者)

<http://africantaiko.blog49.fc2.com/>
ジャンベ教室「アフリカんたいこ教室」主宰。中央アフリカ旧ザイールの音楽グループに4年在籍。2006年、自己の民族楽器ユニット「天鼓(てんくう)」にてCD「MOON」をリリース。2010年、白鳥哲監督の映画主題曲集CD「mandara」に参加。2014年アルバム「天鼓」をリリース。ボーカルや楽曲の良さを引き立てるパーカッション、ここち良いグルーヴ感を叩き出すドラミングに定評があり様々なアーティストのライブサポートやレコーディングにて活躍。著書にジャンベ教則本『西アフリカの太鼓を楽しむ ジャンベの叩き方』



・ステイング宮本 (ベース)

1991年、女性ボーカルの5人編成バンド「RIO」として東芝EMIよりデビュー、ベース、アコースティックギター、作曲を担当。95年解散の後、ライブサポート&スタジオミュージシャン等ジャンルを問わず幅広く活動中。特に歌ものでのベースプレイの評価は高く、アーティスト&アレンジャーからの指名が大多数を占める。エレキベース、ウッドベース、アコースティックベースに加え、コーラスでの担当も多数。ステイング宮本ベーススクールも開講し、講師としても活躍中。バランスのとれたレッスン内容で、プロ志向、趣味等に問わず生徒からの評価も高い。